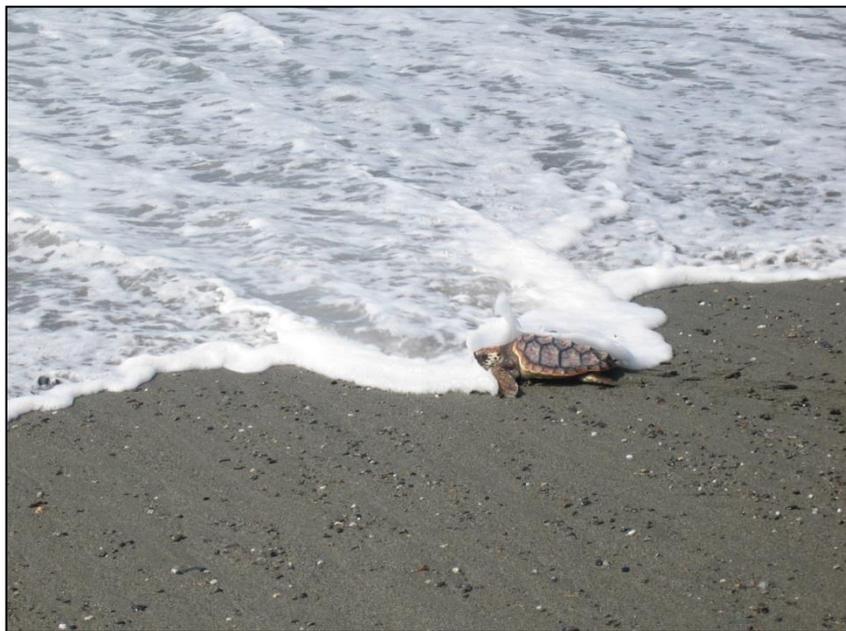


# ウミガメ採卵保護を行いました

高知市春野町仁ノ 平成29年7月3日（月）

- 高知海岸では5月中旬から8月中旬までアカウミガメの上陸・産卵が見られます。
- 7月3日、高知市立春野西小学校の4年生が、仁ノ工区にアカウミガメの採卵見学に来ました。ウミガメの保護活動をしている春野の自然を守る会の熊沢さんが採卵します。



- 今回は少し波が高く、一斉清掃後だったこともあり、海岸清掃はせずにウミガメの放流と採卵会をしました。  
熊沢さんからの話を聞いたあと、小学校でお世話をした2匹のウミガメを放流します。



●みんなでウミガメに声援を送りました。大きくなってまた戻って来てくれるといいですね！



●いよいよ採卵開始です。熊沢さんと高知大学の学生さんが慎重に砂を掘っていきます。



●卵が見つかりとみんなで数を数えます。  
春野西小学校は、145個の卵を採卵しました。



●卵の感触を1人1人触って確かめます。

「ニワトリの卵と違う」、「こんなに柔らかいがやね」と、触った感想をそれぞれ熊沢さんに伝えていました。

採卵した卵は小学校のふ化場とふ化器に移設します。卵は約2ヶ月でふ化します。

●採卵後、穴の中で割れていた卵の中身を熊沢さんが見せてくれました。貴重な体験のあと、お礼の挨拶をして採卵会は無事終了しました。



●4年生のみなさんは、これからふ化場の水やりや温度計測、ふ化器の管理など色々と大変だと思いますが、産まれてくる子ガメの誕生を楽しみにお世話を頑張ってください！